

タカシマヤ タイムズスクエア イルミネーション

『きらめく星の通り道』

約170mの“きらめく星の通り道”が登場！

「インタラクティブライト」を使用した、体験型イルミネーションも！

■2015年11月11日(水)～2016年2月14日(日)

■タカシマヤ タイムズスクエア 2階ペデストリアンデッキ

■点灯時間=17時～午前0時 ※12月は16時30分から点灯

毎年クリスマスのイベントとして親しまれているタカシマヤ タイムズスクエアのイルミネーション。本年は、LED球を約1万5千球使用して、約170mのペデストリアンデッキ(2階歩行者通路)に3つのテーマに沿った“星の通り道”をイルミネーションで表現しました。通路を通ると思わずタッチをしてみたくなる“仕掛け”を施したインタラクティブな“参加型のアトラクションゾーン”をもうけ、連続する3つのエリアでは、“星”が私たちの心をときめかせ魅了する3つの瞬間(星が「流れる(shooting star)」、「瞬く(twinkle star)」、「満ちる(filled with star)」という3つの瞬間)を表現したイルミネーションを展開いたします。



※写真はイメージです

① 星が「流れる(shooting star)」 エリア

通路に設置されたコーンポールに触ると、「音」と「光」が“流れ星”のように変化！
「インタラクティブライト」を使用した、体験型イルミネーション！

～インタラクティブな仕掛けを施した、参加型のアトラクションゾーン～

ペDESTリアンデッキ(2階歩行者通路)の通路の「星が流れるエリア」には、お客様が思わずタッチをしてみたくなる“仕掛け”を施しました。光る20本の柱(=コーンポール)のうち、両端にある計4本のコーンポールをそれぞれ“ぐにゃっ”と倒すと、コーンポールの「音」と「光」が通路に沿って順番に点灯して変化をするので、まるで“流れ星”のようなイルミネーションとして楽しめます。また、コーンポールには様々な「色」と「音」が設定されているので、思わず色々なコーンポールに触れてみたい！という好奇心を誘う、インタラクティブな“仕掛け”を施した、アトラクションのような体験型イルミネーションです。



コーンポール
(インタラクティブライト)のイメージ

② 星が「瞬く(twinkle star)」エリア

アーチ型に組んだ光のトンネルに約1万5千個のLED球が明滅することで、「見上げた星空に星が瞬く瞬間」を表現したイルミネーションです。



③ 星が「満ちる(filled with star)」エリア

星の光が満ちて輝きが広がっていく瞬間をイメージして、光を受けて輝く約1万8千粒のデコレーションビーズがロマンティックな星座のような星の連なりを表現します。星の光と時間の移ろいを感じながら、ドラマティックな光のグラデーションをガラスの壁面に映しだすイルミネーションです。



～2015 タカシマヤ タイムズスクエア イルミネーション「きらめく星の通り道」全体監修～

yakul

〈yakul(ヤックル) プロフィール〉

2013年6月より活動を開始した「未来をハック」するエンジニア集団。
デジタルプロダクトの開発から空間設計まで、多岐にわたるプロジェクトを国内外の企業やコラボレーターと展開。

13年06月に東京芸術大学にて超低速3Dプリンター「epoch I」(as studio01 + yakul) を、
13年10月にTDW2013にて「僕らの7日間戦争」(スポンサー:株式会社CHINTAI)を発表。
14年01月には、CES ラスベガスにてEcoharvester社と共に「Bonsai-light」を発表。
アートプロジェクトや教育機関でインタラクション、UX、ハードウェア製造に関する講演を行っている。